

議会広報常任委員会 行政視察報告書

視察日程 平成 29 年 10 月 3 日（火）～10 月 4 日（水）
視 察 地 倶知安町議会 登別市議会

1 倶知安町議会「広報特別委員会」

視察日時 平成 29 年 10 月 3 日（火） 午後 1 時 00 分～午後 2 時 30 分

（1）視察内容

倶知安町議会が設置している広報特別委員会の活動状況や、議会だより、ホームページ、議会報告会、まちなか懇談会など「開かれた議会を目指す」ため、町民に対してどのような方法を用いて議会活動の周知や報告を行っているのか視察を行った。



（2）感想・評価

倶知安町は人口 15,343 人（平成 29 年 9 月現在）で議員数は議員定数の 16 人であり、広報特別委員会は半数の 8 名で構成されている。

【議会広報】

広報特別委員会は議会広報の編集から校正まで行っており、その広報誌はモノクロ印刷で 26 ページの単独発行で、議会活動が町民に伝わりやすくなるよう写真や見出しなどの工夫、字数制限がされている。一般質問が毎回 10 人ほどいるが、議員一人に対し広報誌の 1 ページが充てられているため質問と答弁は大変分かりやすくなっている。

【議会中継】

議会中継は、議会改革の一環としてインターネット配信するストリーミング放送（倶知安町は U S T R E A M を使用）により積極的に行っており、本会議の様子を生放送、録画放送（一定期間）しているが、この取り扱いについては、議会の公式記録としないなどの免責事項を付記しつつ、議会のスピード感を与えながらも差別化を図っている印象をもった。

【報告会】

倶知安町議会では、テーマを決めて町民との相互理解を深めるために開催する「まちなか懇談会」と、議会の活動を町民に報告し意見や要望を聞くために開催する「議会報告会」が行われている。平成29年度の「議会報告会」は町内6施設、6日間にわたり議員を3組編成として開催されており、町民の意見を町制に反映させるための努力を強く感じた。

(3) 留萌市議会に反映できること

【議会広報】

議会広報の作成のポイントとして、議会活動を分かりやすくするための写真の使い方、字数、色合など、参考にしたい。特に読みやすくするための字数制限について、見直したい。

【議会中継】

「議会でやりたいこと、実施したいことを積極的にしている」という議員の言葉から、理事者との協議・調整に配慮し過ぎず、インターネットによる議会中継を実施している議会の意欲を感じた。留萌市議会においても議会中継を検討したい。さらに議場内へのIT機器の持ち込みや、各種書類の電子化なども検討したい。

【報告会】

当市議会が行っている「市民と議会の意見交換会」のほかに、指定の場所に議員が待機し、市民の都合の良い時間に足を運んでいただきフリートークで意見や要望を聴く「まちかどカフェ懇談会」のような企画も開催できないか検討することも、開かれた議会を目指すための一助になるのではないかと考える。

(4) その他（意見・課題など）

倶知安町議会では、3つの常任委員会と10の特別委員会が設置され、日常的に議論が行われている。また、40歳から59歳までの議員が8人と若い年齢の議員で構成されている。倶知安町はリゾート開発や外国人の長期滞在など道内でも非常に活気があるマチの一つであり、マチを考えるというよりマチを創っていくという意気込みを強く感じた。

議会が主導的にマチの創造に関わっていく姿を見たような気がする。

2 登別市議会「議会だより編集委員会」

視察日時 平成 29 年 10 月 4 日(水) 午前 10 時 00 分～正午

(1) 視察内容

登別市議会は、議会活動を活発化させるにあたり、各委員会が委員会中心主義をふまえ、活発な委員会活動を計画的に取り組むため「年間活動計画書」を作成して、市民の声を取り入れる「意見交換会」や「議会フォーラム」を開催し、政策提言、条例制定などへ反映すべく「市民・住民参加型」の取組を基本とした活動を展開している。



【議会広報】

議会広報誌「でいすかす」は年 4 回定例会毎に、市広報誌の最後の 6 ページを議会だよりとして発行している。2 色刷りのため読みやすく、一般質問、予算、決算、各常任委員会報告、議案の賛否状況、議員自己評価の取組状況などを掲載している。

【議会ホームページ、議会中継】

議会ホームページの大幅なりニューアルのために見積もりを取ったが、市や教育委員会のホームページとの整合性や今後の予定に鑑み断念した。

議会中継のスマートフォン、タブレット対応については、平成 30 年度予算要求に向け検討する。

情報公開度向上のため市議会ホームページの議員名簿をリニューアルし、自宅の電話番号のほか、携帯電話やメールアドレス、議員のホームページなど幅広く閲覧できるようにした（掲載項目は選択制）。

【報告会】

議会フォーラムを、議会全体として「市民との意見交換会の場を定期的で開催するもの」として平成 19 年から継続している。

議会運営委員会が主催となり、4 地区で参加人数は 100 人から 150 人ほど、毎回主なテーマを決めグループ討議等を中心とした意見交換会、報告会や講演会を開催している。

【IT化】

平成 12 年に「IT 促進に関する特別委員会」を設置し、平成 13 年には会派にパソコン 1 台を設置（貸与）するとともに市議会ホームページを開設、平成 14 年議員へパソコンを貸与、メールアドレスを取得し、さらに同じ

年には例規集がCD化された。平成19年に議会中継の導入を検討する小委員会を設置し、平成21年には議会中継、テレビモニターによる資料提示を開始するなどIT化を促進してきた。

【議会基本条例「チェックシート」】

議会基本条例における議会改革の推進と活動の検証、課題の抽出、目的達成の検証の具体的な対応として、41項目に対し実施状況を確認する議会基本条例「チェックシート」を導入し、議会基本条例の遵守や目的達成度をアップさせることにつなげている。

(2) 感想・評価

【議会広報】

年に4回発行している議会広報誌は、留萌市と同じく市の広報誌の中に入れておりページ数も6ページと少ないために議会からの情報がギッシリと詰め込まれているように思われるが、2色刷りのため読みやすいと感じた。ただページに余裕があると、字も写真も余白の部分も取ることができるので、さらに読みやすくなると思われた。

議案の賛否情報の掲示は、議員が採決して決めていることがはっきりして良いと思った。

予算・決算委員会がコンパクトにまとめられ、内容が分かりやすいため市民の関心が高まると感じた。

留萌市議会広報誌も、市民に観てもらえる分かりやすい議会広報誌を目指すためには予算要求も考える必要があると思う。

【議会ホームページ】

議会ホームページについては議会中継を観ることができるため大変参考になった。また、議会モニター制度の重要性についても大変参考になった。

【IT化】

議会のIT化の促進のために15年前から特別委員会を立ち上げたことに驚き、その後着々とパソコン導入、議会中継へと進み、現在は定例会の一般質問においてもパワーポイントを使い説明や質問が出来るまでにすすんでいることは大変参考になった。

【議会基本条例「チェックシート」】

チェックシートの導入は、議会基本条例の確認の意味と条例が正しく使われているか、また自分は市議会議員としてきちんと活動をしているかなどを1年に一度でも改めて見直すことができる素晴らしい機能だと思う。

(3) 留萌市議会に反映できること

議会広報誌に、議案に対する議員の賛否を市民に知らせるために掲載する必要があると考える。

議会のIT化は、これからの時代を考えると先進地の事例を参考に留萌市議会も進めて行く必要があり、登別市の視察を機会に勉強する必要があると感じた。

「議会基本条例に係る議員自己評価表」による取組について、本市議会においても積極的に取り入れるべきと考える。この取組は、議会の最高規範として定められている議会基本条例に基づく議会運営を円滑にし「存在感のある議会活動」を継続的に取り組むためには、議員個々が「条例に対する理解度を上げ、常に条例を意識した活動」が求められ、展開する必要があると明記されている。したがって、将来の議員・議会活動に向け、現状の目指すべき思いと、姿を表現し議員個々の「質」をより一層高めることができると思う。

(4) その他（意見・課題など）

委員会は、市民との協働にふさわしい委員会活動及び運営を目指すため、「市民との意見交換会」など6項目を掲げているが、特に、市民や専門的知見を有する方で構成する議会サポーターの制度を設置し、委員2名を公募し、2年間の任期（無報酬）で「特定の課題」について提言を得ている課題について研究すべきと考える。

先進地の視察は、気づかない視点を学べる上に、他自治体議会の一生懸命な議員に会い、その情熱に触れることができるためとても有意義なものと感じている。このような学びの機会を得て、今後の議会活動にしっかりと反映させていかなければならないと考える。

議会中継をはじめとして、議員の賛否の公表など今すぐにでも留萌市議会が取り組む必要があることを課題として確認できた。